



城陽おひさまプロジェクト news

第 57 号 2023 年 11 月 13 日 NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190 <http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

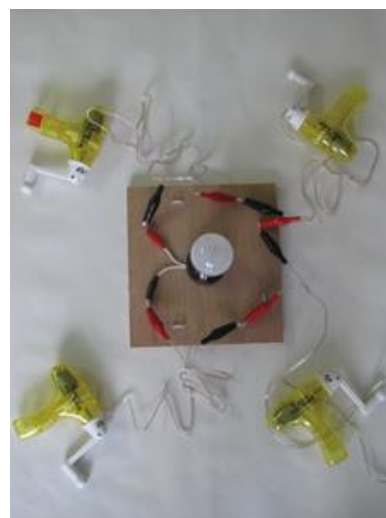
大好評につき、この冬も開催！

白熱電球とLED電球の無料交換会

地球温暖化防止は待ったなし！足元から脱炭素の取り組んでいただこうと、21年2月から始めました白熱電球とLED電球の交換会、毎回多くの方が電球や蛍光灯を持って参加されてきました。「約85%も消費電力を抑える」(広報「じょうよう」2020年7月1日号)ことができ、それだけCO2を削減でき、地球にやさしく・家計にもやさしい、一石二鳥の交換会と好評です。

今回の会場は北部コミセンです。LEDの省エネ性能を実感して頂こうと、今年は体験型のミニ講演を企画しています。右の写真はその体験セット、真中は白熱球、周りに4つあるのは手回し発電機です。(最大7つまで接続できます)みんなで回して白熱電球がどのようにつくのか？LED電球ならどうなのか？一緒に体験して頂こうと思います。

ぜひ、ご家庭にある白熱電球(蛍光灯 OK)を1個以上お持ちください、切れていてもかまいません、60W相当のLED電球1個(26口金)と無料交換します(1人1個)。LEDの良さを実感していただければ、地域の電器店でお買い求めいただき、ご家庭の省エネ・脱炭素社会実現への一歩としてください。(同封のチラシもご覧ください)



手回し発電セット

事前申し込み(11月16日～27日)で、先着100名様に交換させていただきます。 城陽市後援

☆日時 12月9日(土) 2時30分から4時 (2時開場 グループ順に交換します)

☆場所 北部コミセンホール (近鉄久津川駅、徒歩20分)

☆事前に e-mail、ハガキ、FAX (AM10時以降)・QRコードで申込を

折返し、交換券(ハガキ)をお送りします。



↑申込用QRコード

スマホをかざして下さい、申込フォーマットが開きます、ご利用ください。

*名前・住所・電話番号・

希望グループをご記入下さい。

*先着順なので11月27日以前に
締め切る場合があります。

宛先 NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

住所 〒610-0121 城陽市寺田今堀 52-106

FAX 0774-55-4190 (AM10時から受付)

e-mail bnkmf858@ken.jp

会場ではご案内しましたグループごとに省エネ・再エネのミニ学習会(体験会、約15分)があり、その後交換会場にご案内いたします。

「お尋ねと要望」に市から回答

水銀灯9つをLED化、最近のエネルギー事情から新電力比率大幅に低下

学校給食には城陽産米のヒノヒカリを使用、ソーラーシェアリングも「検討」

8月28日、城陽市に提出していました「お尋ねと要望」に10月26日付で回答がありましたので概要をお知らせします。エネルギー事情は昨年来の世界情勢を受けて困難な状態にあることが「回答」からもうかがえます。その中でカーボンゼロ・持続可能な社会に向けての取り組みがされていることが反映した内容となっています。しかし、さらに高みをめざす姿勢が感じられないことは残念です。これからも引き続き要望や現状を把握する活動が求められていると思います。

CO₂排出量は279千t-CO₂

城陽市の総CO₂排出量についてお聞きしました。

令和元年の市域全体の温室効果ガスは279千t-CO₂となっています。昨年は平成30年・2018年の排出量として260千t-CO₂との回答でした。19千t-CO₂、約7%の増加となっています。「排出量の推計方法の一部見直し」が行われているとのことですので、微増傾向となります。令和2年・2019年の数値は12月に公表予定になっています。

電力調達、新電力比率大幅に低下

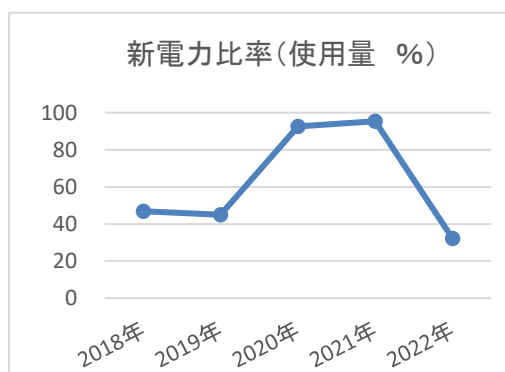
電力調達の再エネ比率については昨年に引き続き公表できる数字は無いとのことでした。「エネルギー情勢が落ち着きましたら環境に配慮した電力の調達に努めたい」との回答もされています。市の施設で使用されているエネルギーについての使用量と金額についてもお聞きしています。市役所や小・中学校、コミセン・街灯などを灯などを含めた施設の総使用電力量は約563.6万kWh、金額は約1億8091万円となっています。

使用電力量で約18万kWhの減少、金額では約7332万円の増加となっています。

2018年からお尋ねしています市庁舎・小中学校などの電力量と金額は約426万kWh及び1億6286万円となります。17万kWhの減少に係わらず、6833万円の増加となり、節電努力と電気料金の値上げの実態が反映していると言えます。なお、新電力の比率は使用量で32.2%、金額では26.6%と大幅な減少となっています。

新電力比率(使用量 %)

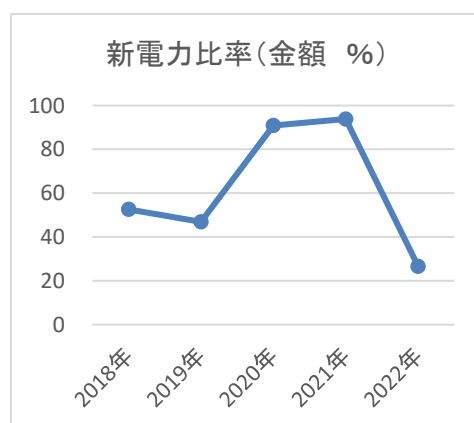
2018年	46.91
2019年	44.91
2020年	92.50
2021年	95.36
2022年	32.24



新電力会社の多くが撤退していった影響を受けていると思われます。今回から購入先として関西電力電力送配電株式会社が登場しています。2020年4月に電気事業法改正に伴い関電から分社化した子会社(関電が100%の株式を所有)なので新電力には含めていません。

新電力比率(金額 %)

2018年	52.63
2019年	46.91
2020年	90.90
2021年	93.86
2022年	26.63



ガスや灯油・水道などを合わせた総計は約2億5125万円(回答分)となります。なお、街灯については6

0万8999kWhの使用量は明記されていますが、料金は記載がありません。

学校給食には城陽産のヒノヒカリ

街灯のLED化は8295灯のうち7113灯(9月時点 85.7% 主に20wの蛍光灯)、水銀灯は9灯をLED化し残りは247灯、ナトリウム灯は残り736灯になっていると回答され、少しずつですがLED化が進んでいます。

地産地消の取り組みでは学校給食に城陽産のお米・ヒノヒカリを仕入れるようにしている、一部の野菜ですが地元の野菜を積極的に利用するように取り組まれていると回答がありました。さらに拡げて、多くの皆さんに知らせて欲しいと思います。また、ソーラーシェアリングには「検討します」との回答でした。しかし、さんさんバスや公用車の電気自動車化については今後の課題とされ、当面の取り組みはされないようです。緑被率は下がっていますが、緑化について積極的な取り組みはされないようです。

「世界気候エネルギー首長誓約」などには消極的

今回から要望しています「再エネ100宣言RE Action」や「世界気候エネルギー首長誓約」など、一昨年に宣言された「カーボンゼロシティー宣言」を高める取り組みには、「署名する予定はありません」など、消極的な対応となっています。「世界気候エネルギー首長誓約」は気候変動対策に取り組み持続可能な地域づくりを目指す取り組みです。パリ協定の目標達成に貢献しようとする市長など自治体の首長が誓約する国際的な仕組みで、京都市や亀岡市・与謝野町が既に署名しています。「再エネ100宣言RE Action」などを含めカーボンゼロシティー宣言を踏まえ、一步踏み出す意思の表明として、是非とも取り組んでいただきたいと考えています。

私たちが2020年から行っていますLED電球の無料交換会を市で行って欲しいと要望しましたところ、直接の答ではありませんが「エコ・アクション・ポイント事業」で新たに購入された場合にポイントの付与をされているとの回答でした。(このポイント事業については広報8月1日号を参照して下さい)

「回答」全文は会のホームページに掲載していますのでそちらをご覧ください。



本会のQRコードです。簡単にホームページを閲覧することができます。
NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会
連絡先 0774-55-4190 e-mail bnkmf858@kcn.jp

LED電球の交換会ボランティアさん募集中

手軽にできる省エネ、白熱電球とLED電球の交換会のお手伝いをして頂ける方を募集しています。

12月9日(土)12時半から5時まで、コアタイムは2時から4時です。
北部コミセンで一緒に交換会を運営しませんか。

ご応募をお待ちしています。

連絡先：連絡先 0774-55-4190 e-mail bnkmf858@kcn.jp

再エネ重視の新電力 一覧表 (10月調)

原発ゼロ、脱炭素、気候変動ストップのために電気を選ぼう！
再エネ重視新電力紹介(京都府内家庭で購入契約可能)

2023年10月
改訂版

パワーシフトキャンペーン事務局提供関西エリア最新情報	
生活クラブエナジー	FIT電気87.7%(太陽光8.7%、風力2.9%、水力0.6%、バイオ77.5%)再エネ太陽光0.2% その他12.1% 21年度実績 組合員限定 0120-112-075
みんな電力	FIT電気56.7%(太陽光13.3%、風力22.7%、水力5.5%、バイオマス15.2%) 再エネ32.7%(太陽光23.0%、風力3.4%、水力3.9%、バイオ1.8%、地熱0.6%) その他10.6%(廃棄物4.7%、他5.9%) 22年度実績 03-6805-2228
太陽ガス ならこーぷ	FIT電気10.6%(太陽光、水力)、その他89.4% 22年度実績 099-273-2651
TERA Energy(株)	FIT電気35%(太陽光12%、風力4.6%、小水力3%、他BG15.4%)、再エネ2%(太陽光) 廃棄物11%、他52% 22年度実績*組合員限定(京都府内加入者可)0120-577-039
ハチドリ電力	FIT電気71.9%(太陽光12%、風力24.8%、水力13.5%、バイオ21.6%) 再エネ17.4%(太陽光4.7%、風力1.8%、水力3.2%、バイオ7.7%)、廃棄物1.5%、他9.2% 21年度実績 固定電話から0120-98-11(携帯から075-874-4851)
たんたんエナジー(株)	FIT電気100%(太陽光60%、風力31%、小水力9%) 20年度実績 0120-960-258 FIT電気75%(太陽光10%、バイオ25%、水力15%、風力25%)他25% 22年度実績 0773-45-3061

パワーシフトキャンペーンが重視する点

- 1、「持続可能な再エネ社会への転換」という理念がある
- 2、電源構成などの情報開示をしている
- 3、再生可能エネルギーを中心として電源調達する
- 4、調達する再生可能エネルギーは持続可能性のあるものであること
- 5、地域や市民によるエネルギーを重視している
- 6、原子力発電や石炭火力発電は使わない
- 7、大手電力会社と資本関係、提携がないこと

パワーシフトキャンペーンが紹介する基準

- 1、電力会社とパワーシフトキャンペーンで共有できていること
- 2、電源構成を電力会社ウェブサイトで開示していること
またはパワーシフトキャンペーンに提示し、開示計画をしめていること
- 3、再エネ電源を重視することが電力会社のウェブサイトに記載されていること
- 4、持続可能性に注目して発電所を選び、「持続可能でない発電」を使用していないこと
または部分的に使用している場合は、メイン電源ではなく、かつ懸念表明および減らす計画の表明があること
- 5、実績や計画、方針が電力会社とパワーシフトキャンペーンで共有できていること
- 6、原子力発電所及び石炭火力発電所との直接契約がないこと
- 7、大手電力会社の子会社でないこと
・大手電力会社と共同出資会社を設立していないこと
・大手電力会社との提携電力プランがないこと

パワーシフトキャンペーンに参加していない再エネ重視新電力

出光興産(株)	グリーンプラス(CO2フリー)	WEB申込
SBパワー(株)	再エネ100%非化石証書による実質CO2ゼロ	WEB申込
(株)Looop	eneco RE100%CO2排出ゼロ	0120-707-454 WEB申込
コスモでんきグリーン	CO2 実質ゼロ(非化石証書による)	0120-530-155
(株)afterFIT	しろくま電力CO2排出ゼロ	WEB申込
(株)リミックスポイント	styleプラスecoCO2排出ゼロ	03-6303-0339 WEB申込
(株)エコスタイル	REオプション再エネ100%電気(非化石証書による)	0120-575-051
MCリテールエナジー(株)	CO2フリープラン	0570-200-767 WEB申込
大阪ガススタイルプラン	E-ZERO 非FIT電気(太陽光)及びFIT電気(太陽光、バイオマス、風力) 再エネ指定非化石証書によりCO2排出ゼロ	0120-121-322
自然電力(株)	Forest電気 再エネ100%(非化石証書による)	03-3868-3391 WEB申込
シナネン(株)	実質再エネ100%CO2排出ゼロ、各種プランあり	0570-034-597 WEB申込
(株)アイ・グリッド・ソリューションズ	スマ電CO2ゼロ(非化石証書組合せによる)	WEB申込
エバーグリーン・リテイリング(株)	CO2フリープラン(非化石証書による)	0120-613-700 WEB申込
香川電力(株)	CO2ゼロプラン実質再エネ100%(非化石証書による)	0120-870-757
(株)サイサン	実質再エネ関西Aプランカーボンニュートラルでんき	WEB申込
EE電気	再エネ電気100%(非化石証書による)	0120-457-200